

社協 鶴 二 だ よ り

(川崎・三ツ池・各務原町)

第58号

平成28年2月

発行 各務原市社会福祉協議会
編集 鶴沼第二地区社会福祉協議会
広報委員会

平成二十七年度を 振り返って

鶴二地区社協

会長 伊藤

浩



平成二十七年度の地区社協活動が終わろうとしています。昨年六月発行の鶴二だよりで

ご案内のとおり、今年度より「支部社協」から「地区社協」に名称が変更されました。生活課題を地域で解決するため、今まで以上に年代・性別の垣根のない互助で、「できること・してほしいこと」が言える環境づくりの願いを込めております。

そこでこの度「お互いさまアンケート」を実施いたしました。皆様にはご面倒をおかけいたしました。ご協力ありがとうございました。

平成二十八年度も「ささえて、ささえられて、みんなが主役のまちづくり」のスローガンのもと、皆様が参加しやすい環境をつくってまいります。倍旧のご支援、ご協力お願い申し上げます。

近隣ケア研修会

テーマ

「見守り」防ごう

高齢者消費

トラブル

平成二十七年七月十二日

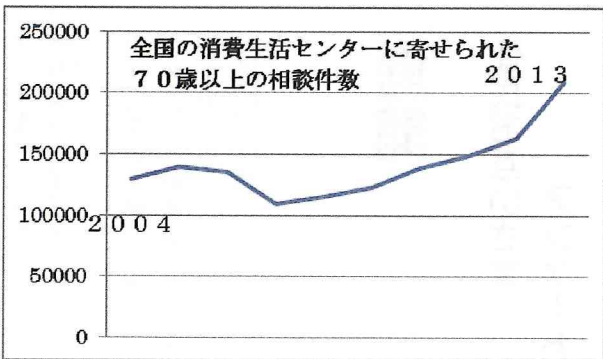
高齢者が関わる消費トラブルの相談件数は年々増加傾向にある中で、高齢者の相談者は家族はもちろんのこと介護者、近隣の人など高齢者を取り巻く周囲の人々になるケースが全体的に多く見られることから、高齢者の消費者トラブルの実態を学ぶ研修会とした。

第一部では、市社協多田羅主任主事より近隣ケアグループの活動原則である「声かけ・知ら

せる・見守る・つなげる」の四点について説明。また各地で行われている活動の事例が紹介されました。

第二部では、司法書士 栗山昌治氏による消費者被害の県内で発生している件数や具体的な種類について、先生の体験談を交えながら解説。また事例については司法書士の視点から助言をいただきました。

それによると、全国の消費者センターに寄せられた契約当事者が七十歳以上の相談件数が年々増加傾向にあり二〇一三年度は約二十一万件で相談全体の約二二パーセントを占めている。



また平成二十七年一月から四月までの四ヶ月間の岐阜県内・各務原署管内での被害状況は次のとおりとなっています。

各務原署			岐阜県内	
振込め詐欺	認知件数	被害額	認知件数	被害額
オレオレ	0	0	12	20,600,000
架空請求	3	33,385,000	42	100,653,340
融資保証	0	0	6	8,250,510
還付金	1	998,525	20	18,147,149
合計	4	34,383,525	80	147,650,999

第三部では寸劇グループつくしんぼの「訪問型のリフォーム詐欺」についての寸劇が紹介され、うまい話はまず疑うこと、近隣の人達と相談することが大切であることを教えられました。

福祉座談会

平成二十七年八月九日

前期までの近隣ケア研修会・福祉座談会等で議論されてきた「要介護者・認知症」の方々のどう支援していくのかでは、現実にはどのように行動していくのかの、もう一つ踏み込んだ議論ができず、依然として民生児童委員、近隣ケアの皆さんに負うところが多い状況となっています。

そこでこの二十七年度は、今までの議論を踏まえて「要介護者・認知症」の方々を見守り支えていくには、周辺地域が具体的にどう行動していけばよいのかについて議論をしました。

出席者は自治会長・民生児童委員・近隣ケア・ボランティアハウス代表・包括支援センター・地区社協役員・市社協担当者等。

また今年度は各地区（川崎・三ツ池・各務原）の地域性を考慮するために、各地区毎に分かれて座談会を開催しました。

また見守り対象者を、各務

原は「認知症」、三ツ池・川崎は「要介護者」とし、それぞれの会場で議論をしました。



福祉座談会

その結果は以下のとおり

認知症の見守り

各務原

○周辺地域とたくさん関係者（自治会・民生委員・近隣ケア・地域包括センター等）と連携し見守る。

○認知症患者のご家族から情報を開示してもらう。

○患者本人の顔を見知らない場合は、それとなく面会する。

○対象者家族が周囲で見守られていることを知ったほうが家族の安心感につながる。

○日頃の見守りはそれとなく、面会は対象者の状態によるが、月一回程度が良いのでは。

○対象者と道で出会った場合は、家族への連絡が第一である。

○でなければ自治会長・民生委員へ連絡。優しく声掛け。

要介護者の見守り

川崎・三ツ池

○見守る側は向こう三軒両隣が良い。班で対応も良い。

○要介護者の性格状態にも考慮する必要があるが、近隣ケア以外にも見守る人がい

ることを知ってもらう。

○それとなく見守るが良い。

○対象者に異変を感じた場合は、まずは民生児童委員への連絡を第一とし、協力者として班長、近隣ケアとする。

展開

住民お互いさまアンケート

アンケート

八月九日の座談会の結果を踏まえて、後日地区社協事務局会議でそれを実現に向けていかにすべきかを話しあった。協力者に中部学院大学人間福祉学部・新井准教授をはじめ、民生児童委員代表・地域包括センター代表も交え協議した。

その結果まず、「要介護者・認知症」の方々またはそのご家族は何をどのように手助けをしてほしいのか、そしてどの地域にどの位の対象者がおられるのかを知ることから始めようということになった。

同時にその地域の健常者の中には、その手助けのできる方、その道の経験者の発掘もしてはどうかということになりました。

これが「住民お互いさまアンケート」の配布となりました。対象は全世帯。原則無記名。自治会経由で各世帯へ一月に配布となりました。



四千を超えるアンケートの封筒入れ、自治会・班の分別を岐阜各務野高校福祉科の生徒の皆さんに協力願いました。

今後このアンケートは回収し整理分析した後、各地域個別に関係者の協力のもと「ささえて、ささえられて」の地域づくりに生かしていこうと考えています。

福祉の 人材発掘事業

生きがいづくり講座

平成二十七年九月十三日

趣味・特技を持ち福祉活動に発表の場を提供し、併せて高齢者の皆さんに楽しんでいただくという講座。



五川会の大正琴

今年の出演者は、

○大正琴

五川会

○マジックショー

ミスタートリック

五川会の大正琴は特に昭和の旋律が合う。多くの観客が好きな歌を口ずさんでいました。



ミスタートリックの爆笑マジック

ミスタートリックのマジックショーには、観客が参加する場面も多くマジックもさる

ことながら、その話術には場内が大爆笑となりました。

ふれあい 交流事業(一)

子ども

フェスティバル

平成二十七年十月十一日

鶴二小体育館

青少年育成市民会議と地区社協の協賛事業です。

第一部は、青少年育成市民会議の企画による、小学生が各教室に分かれての体験講座です。

第二部は地区社協企画の中央中学校吹奏楽部の演奏です。体育館には小学生、高齢者小中学生の保護者も加わり立ち見席いっぱい超満員の盛況でした。



水野鶴二小校長



中央中吹奏楽部の演奏

中央中学は一・二年生だけの演奏でしたが、吹奏楽の迫力はすばらしいものでした。

また顧問の田中先生からは楽器の原理、しくみについて手作りの楽器を使った興味深いお話もありました。

独居高齢者への 小学生からの年賀状

鶴沼第二小学校と中央小学校の児童が二〇〇枚の年賀状を高齢者の方々に届けるために今年も書いてくれました。地区社協が郵便局へ投函しました。

高齢者の方々に大変感謝されています。ありがとうございます。

友愛訪問

一月

今年もお一人暮らしの高齢者五十六名に対し民生委員児童委員・近隣ケアの皆さんから「友愛訪問」としてささやかですが、お菓子を届けていただきました。ありがとうございます。



ふれあい 交流事業(二)

三世代ふれあい交流会

平成二十七年十一月十一日
鶴二小体育館

出演する小中学生と観客としての、その保護者そして高齢者が一同に会しての三世代ふれあい交流会。



かかみのキッズの合唱

今回の出演は
○かかみのキッズ
○各務原太鼓保存会
いつも明るく楽しい歌とダンスを披露してくれるかかみのキッズ。今回は特に観客を



各務原太鼓保存会の演技

巻き込んだ演出で高齢者の方々はそのパワーをもらいました。

一方各務原太鼓保存会の演奏は、相変わらずの一条乱れぬ演技でいつ聞いても見ても感動させられる。

かかみのキッズ、各務原太鼓保存会この二グループには共通点が多い。小中学生が中心であること。そのため常に子供たちが入れ替わっていること。一番は、その常に入れ替わっている子供たちの集団が、前年を上回るパフォーマンスで観客に感動と元気を与えてくれます。



武藤衆議院議員の奥様

年末助け合い 交流事業

クリスマス会

平成二十七年十二月六日

今回の出演は

○岐阜各務野高校福祉科

○シャンソン

ジュジュ



岐阜各務野高校生徒による歌ゲーム

岐阜各務野高校福祉科の生徒により、参加者全員が歌に合わせたゲーム、クイズ等を行いました。



コロコロバイキング

またコロコロバイキングという、穴のあいた段ボールで、ボールが穴に落ちないようにリレーをするゲームも全員参加で楽しみました。

この高校生たちが将来社会福祉の方面での活躍を期待したい。

昨年参加していただいたシャンソン合唱グループのジュジュ。今年は粋な和装での登場となりました。



シャンソンを楽しむジュジュの会の合唱

平成二十八年にウイーンでの大会に参加されるとか。馴染み深い「オーシャンゼリーゼ」「百万本のバラ」等シャンソンに酔いしれました。今年度のクリスマス会は公民館の椅子を全部出しても不足するほどの大盛況で終わりました。